

番組審議会議事録

- 1 開催年月日 令和3年2月20日（土）書類発送日
- 2 開催場所 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、音源・資料郵送による書面開催を実施した
- 3 委員の出席
委員総数 5名
回答委員数 5名
回答委員の氏名 遠藤勝一（番組審議委員長）
伊藤和代 三浦一泰 八木伸太郎 布施由貴子
放送事業者側出席者名 横田善光（事務局）

総出席人数 6名
- 4 議題
協議事項 ①『しおがまラジオスクール』について番組審議
- 5 議事の概要
① 番組について審議

番組名 「しおがまラジオスクール」（5～10分）

放送日時 令和2年5月19日（火）～令和2年5月29日（金）
10時・13時30分（再放送）平日1日2回放送

番組内容 コロナウイルス感染拡大に伴い、現在塩竈市内の小中学校が休校になっている期間に学校の先生から児童生徒の皆さん、保護者の皆さんへメッセージを届けるコーナーを制作放送した。塩竈市教育委員会と共同で1回の放送で3～4校の先生からメッセージをローテーションで放送した。データは教育委員会で取りまとめて当社へ搬入し編集後放送したがスムーズに運営出来た。
また、児童生徒の皆さんが聴きなじんでいる塩竈出身声優「山寺宏一」氏がナビゲート役として収録に協力を頂き、保護者の皆様の反響も良く、アーカイブしてホームページからも聴けるようにした。今後、緊急事態宣言が出た際には改めてこのコーナーを実施してほしいと塩竈市教育委員会からも要請があった。

【審議（発言）内容まとめ】

このコーナーを聴いて児童生徒の皆さんは先生の声に安心したのではないか。学校の様子、先生の様子、児童生徒に向けたメッセージなど学校ごとに工夫があり、先生たちの個性が出ていて、在校生徒や保護者でなくても、学校の雰囲気を感じられる内容だった。

校長先生の話聞く機会は多いと思うが、各学年の先生たちの話を聞く機会は、担任以外あまりないと思うので、保護者の方にとっても、他学年の先生のメッセージが聞けたのは貴重な機会だったのではないか。

児童生徒にとってはもちろん、先生たちにとっても初めての長期臨時休業で休み明けの学校（通学）に不安のある子供たちにとって、ラジオを通して先生たちの生の声を聞けたことは、不安解消にも繋がったのでは。

オンライン配信もあるが、家庭のネット環境によって全ての人に対応できず、ラジオであれば、ネットに比べ環境を整えるハードルは低いので、今回の番組をきっかけに、普段ラジオを利用しない家庭でもラジオの良さを知ってもらう機会にもなったのではないか。

また地域情報発信以外にもコミュニティラジオの地域での役割、地域への貢献その重要性というものを改めて感じた。

改めてコミュニティラジオの果たせる役割の多様性に気付かされた。

6 次回番組審議会開催日

遠藤番組審議委員長と事務局で協議したが、コロナウイルスの感染が終息するまでは書面による審議を開催することとした。今回添付した「今後の番組審議会運営について」参照。

次回は5月に審議会文書を郵送で配布することとした。

7 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

① 書面の備置き 令和3年 3月26日（金）

② 自社放送の公表 令和3年 3月29日（月）午前10時